

投資テーマ「メタバース」と株式市場の見通し

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式

2022年2月16日

◎ 当ファンドの2月14日現在の基準価額は、為替ヘッジありが1万口当たり8,533円、為替ヘッジなしが1万口当たり8,708円となりました。

◎ 本レポートでは、当ファンドの投資テーマとして注目している「メタバース」について取り上げます。また、足元の投資環境と当面の株式市場の見通しについて紹介いたします。

本資料では「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)」「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジなし)」を総称して「当ファンド」といいます。投資先ファンドはルクセンブルグ籍外国投資法人「JPモルガン・ファンズ—USテクノロジー・ファンド」(外国籍、日本での取扱いはありません。)であり、当ファンドはそのシェアクラスである「JPモルガン・ファンズ—USテクノロジー・ファンド(1クラス)(円建て、円ヘッジ)」「JPモルガン・ファンズ—USテクノロジー・ファンド(1クラス)(円建て)」に投資します。

投資テーマ「メタバース」

【最近メディアで取り上げられるメタバースとは？】

メタバースとは、明確な定義はないものの、インターネット上の仮想的な3次元空間のことで、現実世界と仮想空間が一体的に利用できる世界です。英語の「高次元(meta)」と「宇宙(universe)」を組み合わせた造語で、2021年10月に「フェイスブック」が社名を「メタ・プラットフォームズ」に変更したことで、一躍注目を集めました。

多くの人々は、ゴーグル型の仮想現実(VR)機器をつけて、自分の分身(アバター)を使ってインターネット上の仮想空間に入り、そこで買い物ができたり、他のアバターとコンサートやゲームを楽しむことなどができます。また、メタバース上では、遠く離れた従業員が共同作業するバーチャルオフィスをつくることができます。

さらに、製造業の分野でも生産性向上のための活用が期待されています。例えば、工場そのものを1つの仮想空間内に表現して、アバターがこの空間に入り込んで生産ラインを確認したり、現実世界では試すことが難しいシミュレーションや評価を行うなどデジタルの中で試行して、そこで得られた結果を現実世界で活用するといったことが可能になっています。

コロナ禍で人々が現実の世界での行動を制限され、オンライン上での活動が模索される中、メタバースの高い潜在性が期待され、メタバースへの参画が加速されました。

【様々な業種で新たなビジネスチャンスが期待される】

仮想空間を活用するメリットとして、①場所や空間、人数などの物理的制限がないこと、②非現実的・非日常的な体験ができること、③他者と気軽に交流するコミュニティが形成できることがあげられます。ユーザーは世界中で様々な体験ができ、アクセスできるコンテンツも制限がなくなります。メタバースが普及することによって、図表1で示す分野などにおいて新たな可能性が拡がると運用チームは考えています。

図表1. メタバースの普及が期待される分野

分野	新たな可能性
ソーシャル・メディア	オンライン取引、ニュース、エンターテインメント・コンテンツなどとソーシャル・コミュニティがつながる
オンライン・ゲーム eコマース 仮想通貨	ブロックチェーン技術などを活用し、メタバース上に「エコシステム」*1が形成される
NFT(非代替性トークン)*2	今までにないデジタル上の資産の所有を、現実世界の価値や権利に紐づけることが可能になる
ハードウェア	メタバース上でその空間と一体になれるような仮想体験を可能とするための安価で高性能なハードウェアの提供が加速

*1 互いに独立した企業や事業、製品、サービスなどが相互に関連・依存し合い、一つのビジネス環境を構成する仕組み。*2 ブロックチェーン技術を活用し、代替不可能な暗号資産によって取引される、画像や音声などのデジタルデータ

(出所) 各種報道などを基にJ.P.モルガン・アセット・マネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

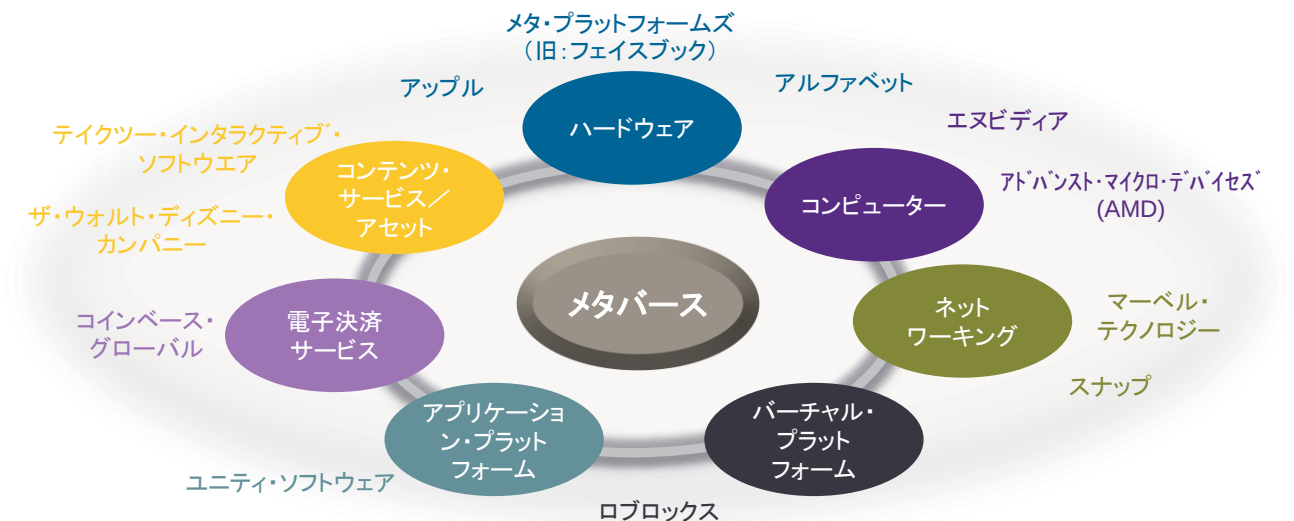
■ 本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

【メタバースに続々参入するテクノロジー企業】

また、メタバースにおいては様々な企業のかかわりが想定されます。①仮想空間を提供する企業、②その中でユーザーにサービスやコンテンツを提供する企業、③仮想空間に入るための機器（Google、パソコンやタブレットなど）を製造する企業、④機器の高機能化を実現する半導体を製造する企業など、世界中のテクノロジー企業に加え、エンターテインメント企業や消費関連企業などに多くの新たなビジネスを提供することが期待されています。

現時点において、実際にメタバースのみから利益を得ている企業はまだ少ないものの、将来性からメタバース関連ビジネスにも力を入れている企業に着目しています。例えば、GAFMAの一角であるメタ・プラットフォームズ、アップルなどはもちろんのこと、多くの映像やデータを処理するため、ハードウェアの性能が重要となることから、その核となる半導体を製造するエヌビディアやAMDなどもメタバース関連企業としてあげられます。また、メタバースのソフトウェア開発やプラットフォーム企業として、ユニティ・ソフトウェアやロブロックスなどすでに頭角を現しています。

図表2. メタバースの普及が期待される分野と関連企業



(出所) 各種報道などを基にJ.P.モルガン・アセット・マネジメント作成

【解決すべき課題】

一方、メタバースの普及には、以下のような解決すべき課題があり、注視していきたいと考えています。

- データプライバシー保護やサイバーセキュリティへの対策などの強化が必要なこと
- サービスプロバイダーによるハードウェアのコントロールがなされないこと
- 現行の法律では想定されていないメタバースに対応した規制や制度が整備されていないこと

※ 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■ 本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドにおけるメタバース関連企業の投資銘柄例のご紹介

ロボックス

メタバース

×

ビジョン

業種：ソフトウェア

【運用チームによる銘柄選択の主なポイント】

◎ 成長が期待される巨大市場

ロボックスは、2021年3月に上場した米国のエンターテインメント企業です。同社はメタバース、モバイル・ゲーム、SNS、ユーザー生成コンテンツなどを提供しており、テクノロジーのメガトレンドを捉えている企業です。様々な業種から高い注目を浴びているメタバースをオンラインゲームや有名ブランドなどと提携して作成しており、今後高い成長が期待されているメタバースの「先駆者」的地位を築いています。

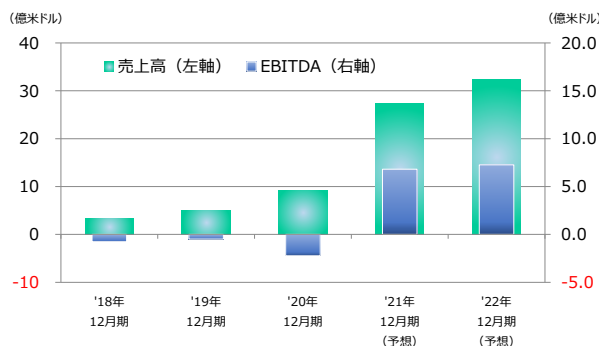
◎ 競争優位性

ユーザーは、どんなデバイスからでも同社のゲームにアクセスすることができ、世代やコンテンツの好みに合ったオンライン・ゲームを3次元世界で楽しむことができるということが同社の強みです。また、同社のプラットフォームでは、プロでなくてもだれでもゲームを創作する「デベロッパー」になることができ、さらにブランドと直接ビジネスが可能となっていることもプラットフォームの価値を高めていると考えられます。

図表3. ロボックスの売上高・EBITDA、株価の推移
(期間：2021.3.10～2022.2.11、日次)



(期間：2018年12月期～2022年12月期、年次)



※EBITDA = 税引前当期純利益 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費
(出所) Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

※本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点におけるJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。 ※業種は、J.P.モルガン・アセット・マネジメント独自の分類です。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式

足元の投資環境

【2月上旬はテクノロジー株主導で反発】

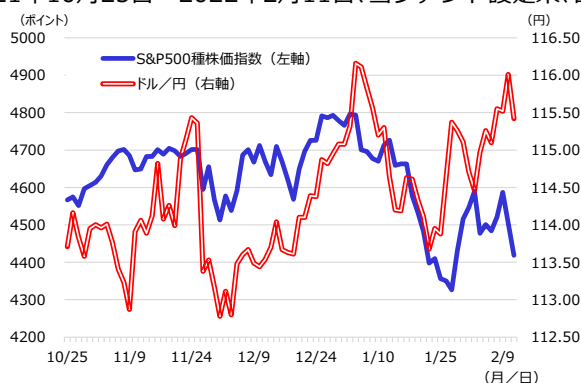
米国株式市場は、米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨で早期利上げの可能性が示唆され、金融引き締めや米国債利回り上昇に対する警戒感が高まったことから、1月はテクノロジー株などグロース銘柄主導で下落する展開となりました。

しかし、2月上旬は、主要企業が四半期決算発表を行う中、アルファベットやAMD、アマゾンなど多くのテクノロジー企業が良好な業績見通しを示したことを受けて、テクノロジー株主導で反発する展開となっています。

為替（ドル/円）は、1月下旬に入ってから株安進行に一服感が出る中、円売りの動きが足元にかけて続き、ドル/円は概ね上昇する展開となっています。

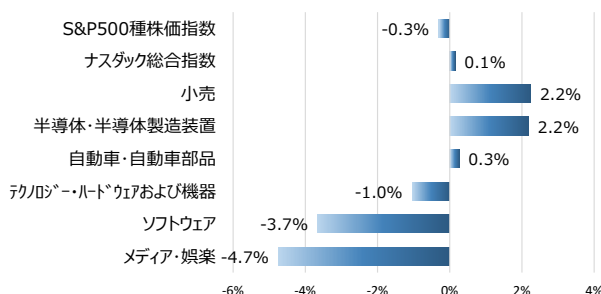
図表4. S&P500種株価指数とドル/円の推移

(2021年10月25日～2022年2月11日、当ファンド設定来、日次)



図表5. 主要セクターの騰落率

(2022年1月28日終値～2022年2月11日終値)



※セクターは、GICSの基準（世界産業分類基準）で表示しております。

(出所) Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

当面の株式市場の見通しと運用方針

足元では、米国の1月消費者物価指数（CPI）が市場予想以上に上昇したことを受けた金利上昇やロシアのウクライナ侵攻への警戒感の高まりから、リスク回避の動きで、相対的にバリュエーションの高い成長株主導の株安が生じています。引き続き、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ回数や利上げ幅の不透明感が株価に悪影響を与えるリスクに注意が必要と考えています。一方で、サプライチェーンの問題や金利上昇が景気に与える影響はあるものの、米国経済は回復を続けるものと見られ、企業業績などのファンダメンタルズを注視しています。運用チームでは、S&P500種株価指数構成企業の2022年の業績は前年比+11%と*、増益が続くと予想しています。

投資先ファンドでは引き続き強固な収益基盤を持つと考える銘柄を中心にポートフォリオを構築するとともに、市場の調整局面では、魅力的なファンダメンタルズを持ちながら割安となった銘柄を組み入れるなどの調整を行っていく方針です。依然として、テクノロジー・セクターの長期的な成長はとどまることがなく、高い成長が期待される魅力的な企業が多く存在するとの見方は変わっておりません。

* 2022年の業績予想は2022年1月末時点。

※本資料の株式市場見通しは、2022年2月14日時点におけるJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの見解を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/株式

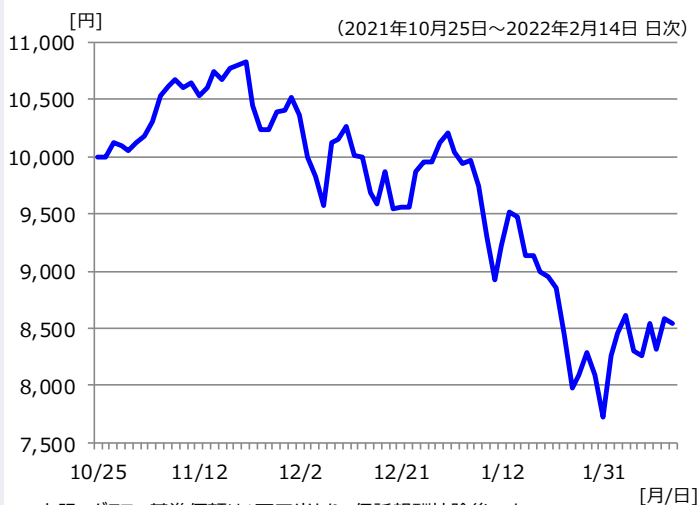
【ファンドの基準価額】

当ファンドの2月14日の基準価額は、為替ヘッジありが8,533円、為替ヘッジなしが8,708円となっています。

※2月14日の基準価額には、米国現地11日までの動きが反映されています。なお、投資先ファンドは取引時間中の価格で評価を行っているため、引値ベースの動きとは異なる点にご留意ください。

為替ヘッジあり（作成基準日 2022年2月14日）

基準価額の推移



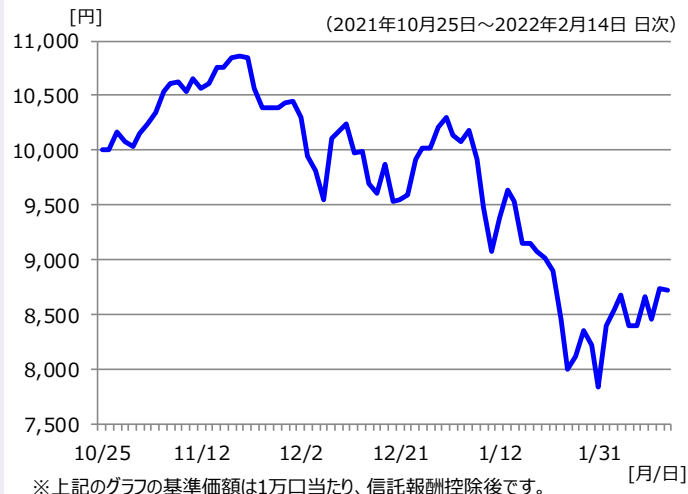
ファンドデータ（2月14日現在）

基準価額（円）	8,533
残存元本（百万口）	3,975
純資産総額（百万円）	3,392
ポートフォリオ構成比率（2月14日現在）	
JPモルガン・ファンズーUSテクノロジーファンド（Iクラス）（円建て、円ヘッジ）（%）	97.3
マネー・リクイディティ・マザーファンド（%）	0.2
短期金融商品その他（%）	2.5

（出所）社内データ

為替ヘッジなし（作成基準日 2022年2月14日）

基準価額の推移



ファンドデータ（2月14日現在）

基準価額（円）	8,708
残存元本（百万口）	70,539
純資産総額（百万円）	61,424
ポートフォリオ構成比率（2月14日現在）	
JPモルガン・ファンズーUSテクノロジーファンド（Iクラス）（円建て）（%）	97.2
マネー・リクイディティ・マザーファンド（%）	0.2
短期金融商品その他（%）	2.6

（出所）社内データ

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

（作成：運用本部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式**

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.298%（税抜1.18%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.948%程度

実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)